

# パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報

2016年7月1日 154号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護



パルマ通り



屋根瓦はスペイン式



市内バス



緑豊かなアスンシオンの街



先住民と日本人



大聖堂



## Asunción



ラパーチョの花



貨客船アキダバン (オリンボ港)

### アスンシオン市のデータ

(Wikipediaより)



市旗(上)と市章



建設：1537年8月15日  
人口：525,294人(2016年)  
人口密度：4,490人/Km<sup>2</sup>  
首都圏人口：2,198,662人  
面積：117Km<sup>2</sup>、標高(中央)：43m  
日本との時差：-12時間  
サマータイム：-11時間  
年間平均気温：23℃  
最高気温高値：41℃ (10月～1月)  
最低気温低値：-1℃ (6月～8月)  
平年の年間降雨量：約1,400mm  
姉妹都市：千葉市、サンパウロ市、マドリード市、他

**パラグアイの玄関アスンシオン市**

世界各地からレダを訪れるとき、パラグアイで最初に下り立つのが、首都アスンシオン(Asunción)です。全国の主要都市・近隣諸国と道路網で結ばれ、多くのバス会社が大型バスを運行し、市民の最も普通の交通手段となっています。

レダ基地へは、ローマ・プラタまで約六時間半、その先は未舗装の道で、約十時間かかります。パラグアイ川の船旅をするには、陸路コンセプションに行き、週1便運航の貨客船アキダバン号に三日間乗って、プエルト・レダで下船します。急ぐ場合は、小型飛行機をチャーターすることもできます。

皆様がアスンシオン到着時にどう感じるかは、季節によります。市街地は東京23区よりも緑が多く、季節ごとに色鮮やかな花が、庭先や公園などに咲きます。公用語はスペイン語ですが、日常生活ではグアラニ語も広く話されます。

「アスンシオン」とは、聖母マリアの昇天に由来する名称で、一般市民のカトリック信仰は、文化として日々の生活と社会の中に深く根を下ろしているように見えます。市内には数百年の歴史のある教会が多数あり、そのほとんどが現役で使われています。また、国家の公式儀礼行事や祝日なども、カトリックの伝統に則っています。日曜日が休みの店も多いので、買い物をするときなどは注意が必要です。

衛生と治安は、南米では比較的良好ですが、スリや置き引きに注意すべきなのは、世界共通です。一般市民は人懐っこく、陽気で、音楽、ダンス、サッカーなど、躍動的なものを好む傾向があります。民族楽器アルパの音色は、人の心によく響き、私たちの口に合う美味しい料理も数多くあります。



去る三月十日に出発し、レダ基地で現地活動をして来た吉村敏明理事が、六月十四日、元氣よく帰国しました。(インタビュー 小田)



レダ基地の吉村理事(寒い日)

Q.. レダの印象は？  
A.. 暑かったこと、寒かったことの両方が印象的です。はじめ気温が40度を超える日々が続きました。五月の放流式以後は、一転して寒さに襲われることが多くありました。また、レダ基地で使っているトラック、トラクター、電気設備、水道施設などの老朽化が進んでいたことに心を痛めました。特に大山氏が使っているトラックは古くて不具合が甚だしく、左右の窓ガラスはなくなり、ブレーキも正常ではない状態でした。  
Q.. レダではどんな業務を担当しましたか？



カピバラは齧歯類(ネズミの仲間)で、木を齧ります。



レダ基地でカピバラの世話をする吉村理事。



カピバラの家。

Q.. 今後の抱負は？  
A.. レダ基地に定住して活動の基盤を造りたいと考えています。  
Q.. 日本の皆様一言どうぞ。  
A.. レダ基地は人材不足が深刻です。レダでは、皆様の来園を切実な思いで待っています。

Q.. 日本に帰国して、特にどんなことをしたいですか？  
A.. 今年の十一月に、またレダに行く計画をしています。そのための諸準備、特に養殖や牧畜などに関する勉強をしたいです。  
Q.. 日本は健康が守られたと思います。  
A.. 今年の十一月に、またレダに行く計画をしています。そのための諸準備、特に養殖や牧畜などに関する勉強をしたいです。



吉村氏と佐野氏が6月3日のアキタバンで出発。

A.. レダは極度に人員不足で、専ら一つのことだけを担当して済む状況ではなく、管理、清掃、修理、カピバラの世話、ゲストを迎える準備ほか、あらゆることに東奔西走する毎日でした。  
Q.. レダで最も苦心したことは？  
A.. 体調の管理



パンタナール研究所の表札。ドア2枚分の幅がある。

またその成果を普及する場として、地道に活動しています。特に水産資源の研究では、国立アスンシオン大学獣医学部水産学科と協同で、パクーの人工孵化と稚魚の養殖および河川への放流に取り組んでいます。皆様には研究所の見学をお奨めするとともに、今後も持続的なご支援をお願いいたします。

## パンタナール研究所に表札

レダ基地のパンタナール研究所に、美しい木製の表札(看板)ができました。観音開きのドア二枚分の幅のある大きなものです。パンタナール研究所(中田実所長)は、養殖、農牧、植樹、教育環境、住民生活環境の改善、地場産業の育成などを、パンタナールの現場で追究する場として、



ラパーチョの咲く季節になりました。



現在パラグアイを訪れている土佐嘉孝さんから元気な便りが届きました。土佐さんは昨年派遣の第15回国際協力青年奉仕隊参加者です。

六月一日より、パンタナールにて奉仕と卒業論文の研究という目的で、南米パラグアイを訪れています。帰国は半年後となる十二月初旬を予定しています。現在、パラグアイに滞在して十日ほどが経ちますが、今私はパンタナールではなく、スペイン語習得と現地文化・風習を学ぶため、首都アスンシオンでパラグアイ人の青年たちと共同生活をしています。

パラグアイでの生活は想像以上に苦労も多く、パラグアイ人との言葉の壁、文化の壁を痛感する毎日です。パラグアイでは日本語はもちろんのこと、英語すらほとんど通じないので、嫌でもスペイン語を勉強せざるを得ない環境です。また言語に限らず生活の全てが挑戦の毎日で、普段は生活費を稼ぐためにアルバイトとして街で物売り(営業的なことを、パラグアイの青年たちと一緒にやっています。もちろん片言、いや丸暗記のスペイン語で…。

日常生活の中でも、自分の日用品や携帯の充電器を気付けば他の人が使っていて、挙げ句の



元気よく出発。(6月1日、成田空港)

果て紛失したり、布団の上を土足で歩いて砂まみれになっていたり、基本こちらの人は大雑把で細かいことは気にしないようです。そんな毎日を過ごしていると一日が終わる頃には本当に疲れ切っている様な状態ですが、この環境がきつと自分を成長させてくれると信じて何とか頑張っています。



パラグアイでスペイン語をバリバリ習得中。

苦労や嫌なこと

も多い分、何か新しいことができるように感じる大きな喜びを感じています。例えば、覚えてたのスペイン語が上手く相手に通じたり、先日はパラグアイに来て初めて一人でバスに乗ってちゃんと目的地に着くことができました。そんな些細なことでも達成感を感じられることが、海外生活の良さなのかもしれません。

パンタナールのレダ基地に行くまでの約一カ月間、しばらくこの生活が続きますが、スペイン語だけでなく、人間としても大きく成長できるように日々挑戦していきたいと思っています。(土佐)

## 第16回環境問題研究会セミナーを開催



六月十八日午後一時半より、川崎市のすくらむ21多目的室において、第16回環境問題研究会セミナーが開催されました。テーマは「世界の環境問題と国連の役割―日本人からの見方」、講師は日本を代表した環境問題の権威である成蹊大学名誉教授、政策研究大学院大学(CGPE)客員教授の廣野良吉先生で、38名が参加しました。



明快な講義が進行するセミナー。

●聴講メモ…この三十数年間、各大陸のHDI(人間開発指標)は上昇している、希望が持てる。地球益を考えるべき国々が、国益を優先するところに大きな困難がある。成功へのカギは、合意の形成、受入れ国の意見を聞くこと、パートナーシップの確立。技術協力では言語能力が重要。(小田記)



語る廣野良吉先生。

青年時代から国際舞台で現実世界の難問に取り組んでこられた先生が、テーマを環境問題に絞って語られました。深い講義内容をわずか一時間に濃縮して話されたため、あつという間に時間が過ぎ去りました。

●講義目次…①戦後グローバル

リゼーションがもたらした大きな変化・特に経済、社会、環境面での成果と課題②地球的課題解決における国際社会の課題…多極化した世界における国際合意の困難と実施上の制約条件③SDGs(Sustainable Development Goals)持続可能な開発目標④SDGsの17目標…グローバルリゼーションの成果を受け継ぎ、未解決および新たな国内外課題の解決に向けて⑤SDGsの推進における日本の役割…特に環境関連目標達成への協力。いずれも環境問題に関わる人々を多かれ少なかれ悩ませている課題に、率直な解説と励ましとを提供するものです。



## 第11回パンタナール一日研修会ご案内

この夏のパンタナール一日特別研修会（ワンデイセミナー）は、一か月後に迫りました。最新の現地映像を含め、私たちの17年にわたる着実な理想郷建設の歩みを紹介いたします。

### セミナーご案内

日時 二〇一六年八月六日（土） 十時より受付、十時二十分開始、午後五時終了。

会場 国立オリンピックピック記念青少年総合センター 国際棟二階セミナールーム

参加費 二〇〇〇円（昼食を含む）

参加を希望される方は、八月一日までに、応募用紙に必要事項をご記入の上、ファックスかメールで下記の当法人事務局あてお送りください。応募用紙の必要な方は、下記の当法人事務局にご連絡ください。

主催 一般社団法人 南北米福地開発協会  
共催 NPO法人 地球の緑を守る会

### プログラムと講師紹介



柴沼邦彦講師



高津啓洋講師

●「レダ・パンタナールにおける理想郷建設」講師 柴沼邦彦 当法人理事 国際協力青年奉仕隊を第14回まで引率した、青年指導のエキスパート。

●「地球環境問題救済の道」講師 高津啓洋 NPO 地球の緑を守る会代表理事 生涯を世界と日本の植樹活動と啓蒙に奔走。大の昆虫好き。

## 第十六回国際協力青年奉仕隊員を選抜



選考風景（事務局）

来る八月に派遣される第十六回青年奉仕隊には、全国から三十名を超える応募がありました。隊員の選考は、五月二日と六月二日の二次にわたって事務局で行われ、十三名が選ばれました。応募者の多くは、いずれも甲乙つけ難い有望な若者たちで、苦慮した選考委員からは、「くじ引きで選んでもいいのでは」という声も出たほど。選考委員は、ワールドカップ日本代表チームの監督になったように、チーム造りという観点も含めて隊員を選抜しました。今回選ばれなかった方たちは、ぜひ次回以降も応募してください。

## 引き続き、第十六回国際協力青年奉仕隊活動へのご支援をお願い致します！

今年の第十六回青年奉仕隊の活動地は、パラグアイ共和国、パンタナール地域です。青年奉仕隊員たちが、できるだけ多くの住民に、より



ビバー！（レダ植樹活動）

多くの時間、奉仕できるよう、ご支援をお願い致します。うす。使い残された、はがき、年賀はがき、書き損じはがき、未使用の切手などを下記の事務局あてお送りください。また支援金も感謝してお受けいたします。

支援金送り先 郵便口座 記号 一〇二八〇  
番号 六一三四九七五一 一般社団法人 南北米福地開発協会

## 一般社団法人 南北米福地開発協会 事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15

岩崎ビル4F

電話：044-829-2821

FAX：044-829-2820

ゆうちょ銀行（旧一般会員会費納入）

記号10280 番号61349751

一般社団法人 南北米福地開発協会

E-メール：office@asd-nsa.com

ホームページ：http://asd-nsa.com

## 会員種別

◆会員一口1000円／月

◆特別会員一口1万円／月

◆法人会員一口1万円／月

※いずれも口数は申込者が申告

会費は、毎月の引き落とし方式です。

会費振替用口座 ゆうちょ銀行

00290-5-113072

加入者名：シャ 南北米福地開発協会

入会申し込みと同時に手続きをお願い申し上げます。それが確認でき次第、会員番号を確定し、ご案内いたします。

♥入会申込書は、左記の事務局にお申しつけください。ホームページからも入手できます。

## お便り募集



読者の皆様からのお便りを募集します。本紙記事へのご感想や提案、皆様個人やご家庭での歩み、あるいはグループや支部での活動と関連写真、イラストなどをお待ちしています。宛て先は、事務局 office@asd-nsa.com へお願いします。